

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪運輸倉庫株式会社海外医薬品	階数	地上3F
建設地	大阪府泉佐野市りんくう往来	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2021年12月15日
敷地面積	3,306㎡	作成者	足立奈美依
建築面積	2,155㎡	確認日	2021年12月20日
延床面積	6,456㎡	確認者	松浦慎治

本図を右クリックし、「図の複製」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 83%
③上記+②以外の 83%
④上記+ 83%

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

音環境	3.2
温熱環境	1.6
光・視環境	2.0
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

機能性	3.0
耐用性	3.8
対応性	3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

建物外皮の	3.4
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.6
地域環境	3.4
周辺環境	2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	建物内部のメンテナンス性を重視した	その他 なし
Q1 室内環境	居室の天井高さを高めにし、できるだけ自然光を取り入れ、閉塞感の緩和に配慮した	Q3 室外環境(敷地内) 建物周辺地域の景観に配慮した
LR1 エネルギー	全熱交換機を採用し、空調機負荷を軽減するよう配慮した	LR3 敷地外環境 常時使用する空調の室外機を敷地中央に配置することにより、周囲への騒音・振動に配慮した
Q2 サービス性能	建物、設備のメンテナンス性を重視した	
LR2 資源・マテリアル	間仕切壁、天井をパネル化し、組立・解体を容易にした	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0100

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪運輸倉庫株式会社 海外医薬品GDP倉庫新築工事						
	建設地	泉佐野市りんくう往来北						
	用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.4	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		